

オリバイン BPS 5978

1. 特徴

2 液硬化型アクリル系弱粘着型粘着剤です。

2. 性状

	主剤 < BPS 5978 >	硬化剤 < BXX 5134 >
外観	無色不透明	無色透明
不揮発分	35.0 ± 1.0 %	5.0 ± 0.3 %
粘度	2400 ± 1000 mPa·s	—
溶剤	酢酸エチル、トルエン	トルエン、IPA

(粘度: B 型 #3/12min⁻¹ at 25°C)

3. 使用方法(例)

- 配合 : 主剤 1Kg / 硬化剤 90g
- 塗布量 : 約 20g/m² (dry)
- 乾燥 : 100°C-2min 熱風オープン
- 熟成 : 塗工後、23°C-50%RH、7days

4. 性能

試験項目				測定値
粘着力 [mN/25mm]	SUS	23°C-50%RH	initial	150
			24hrs	200
			7days	290
		耐熱	100°C	250
			150°C	3140 (CL)
		ガラス	23°C-50%RH	initial
	24hrs			0.1
	7days			0.3
	高速剥離力 [N/25mm] 30m/min	SUS	24hrs	600
ガラス		24hrs	420	
保持力 [mm/70,000sec]	SUS	40°C-1Kg	NC	
ボールタック [#]				5

* CL:被着体の曇り NC:ノンクリーブ

<試料作成条件>

配合 : BPS 5978 / BXX 5134 = 100 / 9.0
 剥離紙 : ポリエステルフィルムセパレーター
 基材 : 市販ポリエステルフィルム 25μm
 塗工 : 弊社テストコーターにて転写塗工
 塗布量 : 約 20g/m² (dry)
 乾燥 : 90°C-1min (乾燥炉長 3m)
 熟成 : 塗工後 23°C-50%RH、7days

5. 使用上の注意事項

保存方法 : 屋内にて直射日光を注意して保存
 取り扱い : 危険物につき火気厳禁
 配合 : 水分混入注意。

*本資料記載データは弊社試験に基づくものでありますが、使用された場合の性能を保証するものではありません。ご使用に際しましては、ユーザー各位の使用条件で事前確認の上、ご採用いただきますようお願い申し上げます。

6. 一般試験方法

<粘着力>

試料と被着体を 30 分以上測定雰囲気下に放置してから貼り合わせ、2Kg ロールで 1 往復圧着後測定する。測定は引っ張り試験機を用い、180 度方向へ 300mm/min の速度で引き剥がし、その強度を表示する。

試料サイズ	:	巾 25mm × 長さ 100mm
被着体	:	SUS 板、ガラス板
初期	:	圧着直後に、測定する。
永久	:	圧着後、測定雰囲気内に 24 時間放置してから測定する。
7 日後	:	圧着後、測定雰囲気内に 7 日間放置してから測定する。
測定雰囲気	:	23°C-50%RH

<耐熱粘着力>

試料と被着体を 30 分以上測定雰囲気下に放置してから貼り合わせ、2Kg ロールで 1 往復圧着後、100°Cもしくは 150°Cの雰囲気に 60 分間放置する。常温に 60 分以上晒した後、測定する。測定は引っ張り試験機を用い、180 度方向へ 300mm/min の速度で引き剥がし、その強度を表示する。

試料サイズ	:	巾 25mm × 長さ 100mm
被着体	:	SUS 板
測定雰囲気	:	23°C-50%RH

<高速剥離力>

試料と被着体を 30 分以上測定雰囲気下に放置してから貼り合わせ、2Kg ロールで 1 往復圧着し 24 時間後に測定する。測定は引っ張り試験機を用い、180 度方向へ 30m/min の速度で引き剥がし、その強度を表示する。

試料サイズ	:	巾 25mm × 長さ 100mm
被着体	:	SUS 板、ガラス板
測定雰囲気	:	23°C-50%RH

<保持力>

試料を 23°C-50%RH 内で被着体に貼り合わせ、2Kg ロールで 1 往復圧着する。貼着試料は測定雰囲気内で 20 分放置後荷重を掛け、落下する迄の秒数又は一定時間に於けるクリープ状態を表示する。

試料サイズ	:	巾 25mm × 長さ 100mm
貼着面積	:	巾 25mm × 長さ 25mm
被着体	:	SUS 板
測定雰囲気	:	40°C
荷重	:	1Kg

<ボールタック(J.DOW 法)>

傾斜角 30 度で助走 10cm 糊面 10cm の試料にスチールボール(1/32~32/32 インチ)を転がし、糊面の中央付近に停止するボールの径の番号を表示する。測定雰囲気は 23°C-50%RH で実施する。